

日本都市ファンド投資法人

2025年12月11日

各 位

不動産投資信託証券発行者名

日本都市ファンド投資法人 (コード番号 8953)

代表者名 執行役員

西田 雅彦

URL : <https://www.jmf-reit.com/>

資産運用会社名

株式会社 KJRマネジメント

代表者名 代表取締役社長

荒木 慶太

問合せ先 キャピタルマーケット部エグゼクティブディレクター

北岡 忠輝

TEL : 03-5293-7081

CDP 気候変動プログラムの評価結果に関するお知らせ：「A」スコアを取得

日本都市ファンド投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、2025年に実施された気候変動情報開示に対する活動を評価するCDP（カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）気候変動プログラムに参加し、最上位レベルのリーダーシップに位置する「A」スコアを取得いたしました。



1. CDPについて

CDPとは、運用総額127兆米ドルの資産を保有する世界の機関投資家のサポートの元で上場企業の温暖化対策を調査している国際NPOであり、2016年11月4日に発効となったパリ協定の実効性を担保する民間の取り組みとして、注目を集めているものとなります。

CDPは2003年以来、世界の主要企業を対象に、温室効果ガスの排出や気候変動による事業リスク・機会などの情報開示を求める質問書を年に1回送付し、その回答をもとに企業の気候変動問題への対応を評価しており、評価はA, A-, B, B-, C, C-, D, D-の8段階で付与されます。なお、本投資法人は、2016年にJ-REITとして初めてCDP気候変動プログラムに参加しました。

本評価に関する詳しい内容は、CDPの活動のページをご覧ください。

<https://www.cdp.net/ja>

2. 本投資法人のサステナビリティへの取り組み

本投資法人は、資産の運用を委託する資産運用会社である株式会社KJRマネジメント及び同社の親会社である株式会社KJRMホールディングス（以下、総称して「本資産運用会社等」といいます。）とともに環境や社会全体のサステナビリティ（持続可能性）を確保するための取り組みを主体的に推進しています。

① 本資産運用会社等におけるサステナビリティに対する基本的な考え方

本資産運用会社等は、環境や社会全体のサステナビリティを確保するための取り組みを主体的に推進しています。

本資産運用会社等のサステナビリティに関する取り組み事例については、以下をご参照ください。

本資産運用会社サイト：<https://kjrm-sustainability.disclosure.site/ja/>

② 本投資法人におけるサステナビリティに対する基本的な考え方

本投資法人は、ステークホルダーとのコミュニケーション、社会貢献活動を通じた地域とのつながり強化、保有資産における環境配慮と環境負荷軽減等を通じ、環境や社会全体のサステナビリティを確保するための取り組みを主体的に推進しています。

本投資法人のサステナビリティに関する取り組み事例については、以下をご参照ください。

本投資法人サイト：https://jmf-reit_sustainability.disclosure.site/ja/

【ご参考】保有資産の環境認証・評価

本投資法人は、サステナビリティ活動を通じ保有資産における各種環境認証・評価を受けています。

保有不動産が取得する認証・評価については、以下をご参照ください。

本投資法人サイト：https://jmf-reit_sustainability.disclosure.site/ja/themes/127/

本投資法人は、ネットゼロに向けた取り組みを含め、今後も環境負荷の低減と地域社会に対する貢献の取組みを行っていく所存です。

以上